



校長室便り

平成二十八年一月七日号

明けまして
おめでとうございます

保護者・地域の皆様には、平素より本校の教育活動の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、生徒の皆さん、平成28年(2016年)申年の幕開けとなりました。2学期の終業式では、冬休みのしおりの表紙に書いてある2つの文について話をしました。一つは、「去年の自分より劣ることは恥ずかしい」ということ。もう一つは「一年の計は元旦にあり」ということでした。

新年を迎え心機一転、多くの人が、自己の成長に向けて頑張ろうとしていることでしょう。今の気持ちを持続させ、さまざまなことにチャレンジし、よい結果を出して自信をつける1年にしてください。そのためには、先を見据えた計画をしっかりと立てることが大切です。

ところで、一昨日の新聞に次のような記事が掲載されていました。パラアスリートの江口 舞さんという女子高校生についての記事でした。パラアスリートとは、障害とともにスポーツを楽しむ競技者のことです。彼女は柏原市に住む高校3年生です。

彼女は高校2年生の時、駅のホームで電車と接触する事故に遭いました。事故の記憶は全くなく、気がついたときには病院のベッドの上にいたそうです。そして、父親から左足の膝から下を失ったことを聞かされます。彼女にとって、どれほどショックなことだったでしょうか。もちろん家族に

とってもです。しかし、彼女はこのように言っています。「悩んだのは3日間」「生きていただけでよかった。人生を楽しむしかない」と片足のなくなった自分を受け入れたそうです。

そんな彼女が出会ったスポーツがアーチエリーでした。集中力と高度な技術を要求されるスポーツです。彼女の場合、左足の義足が右足の成長とバランスがとれていないので、通常より身体に負担がかかるそうです。しかし、練習を始めると、しんどくなっても自分が納得いくまで練習をやめないうです。彼女を指導する監督さんは言います。「何よりガッツがある」

彼女の夢は、パラリンピックの代表となり、世界の舞台に立つことです。そのために不断の努力を続けているそうです。

この記事を読みながら、自分自身に勝つことの大切さを感じました。どんな苦しいことがあったとしても、自分を奮い立たせ、一つずつハードルを乗り越えていくことの大切さです。皆さんも自分に負けず、確かな目標、綿密な計画、不断の努力をもって自分自身を成長させていきましょう。

1月の行事



7日(木)	始業式
8日(金)	3年生第5回実力テスト
12日(火)	3年生第5回実力テスト
13日(水)	数・理・社
19日(火)	1・2年生チャレンジテスト
26日(火)	1年生道徳公開授業
27日(水)	私学一斉出願
28日(木)	3年生学年末テスト
29日(金)	新入学説明会

学校ホームページの閲覧は

大阪市教育委員会 天下茶屋中学校
で検索。

